

令和2年5月19日

全国高等学校英語スピーチコンテスト
出場を目指していた皆さんへ

全国英語教育研究団体連合会（全英連）
会長 鈴木 真人

全英連会長の鈴木です。この度、全英連が主催する全国高等学校英語スピーチコンテストを中止することを決定しました。

13年前に第1回のコンテストを開催して以来、毎年全国から素晴らしい先輩たちが東京に集い、高いレベルで成果を披露してくれてきた大会で、よもや中止になることがあろうとは、数か月前までは想像だにしていなかったことでした。

ですが、今全世界を震わせている新型コロナウイルスの影響は甚大で、私共もその影響から逃れることはできませんでした。つまり、皆さんに危険が及ぶ可能性のあることは避けなければならないということです。全国大会を行うためには、都道府県大会、ブロック大会が行われなくてはなりません。大会担当の先生方からは、本当に秋にそうした大会を行ってよいのだろうかという問い合わせが引きも切りません。また、仮にそうした大会が無事に行われ代表選出がなったとしても、来年の2月に皆さんを安心して東京にお迎えできる環境が整うかどうか、先行きを全く見通すことができず、私は会長としてぜひやりましょう、と言い切ることができませんでした。

この大会出場を目指して努力してくれている生徒さんが、全国各地にいることを、私は知っています。高校生からも大会の開催についての問い合わせがあったからです。その気持ちを押し量ると、今回の決定は胸がつぶれる思いがします。いたたまれない思いです。

ですが、そうした高校生の皆さんにお伝えしたいことがあります。今回は残念なことになりましたが、どうぞ高い志を失うことなく、引き続き英語を勉強して行ってください。全国大会を毎回参観し、出場者がどれほど努力を重ねてきたかを見てきましたし、緊張した表情でスピーチをする出場者がその後どれほど安堵した表情を浮かべるかを見てきました。苦しい経験の先には開放があり、より高次の自由の世界が広がるのです。皆さんには、全国のご自分の学校で、この自由を目指して高いレベルで英語の勉強を続けてほしい。高校を卒業したのちに、また改めてスピーチコンテストに挑戦することもできるでしょうし、高いレベルの英語力を生かして様々な活動を展開することもできるでしょう。どうぞそうした将来の活動を心に抱いて、今回の中止という悔しさを乗り越えていただければと強く祈るものです。どうぞ強く生き抜き、学び続けてください。